

- 2 防災ポケットブックが新しく
- 3 独りで悩まず相談を
- 4-5 **特集** 地域での支え合い
つながり培う防災力
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」 ネットは「マイ広報紙」



厚木の魅力を発信

梅澤 廉さん

観光特別大使に

「生まれ育った厚木はたくさんの思い出がある大好きな場所」。あつぎ温泉郷にある旅館の一角で話すのは、市内出身のアナウンサー・梅澤廉さんです。以前から自身のSNSなどで厚木の魅力を発信し、昨年のおつき鮎まつり大花火大会では司会を務めた梅澤さん。2月に市の観光特別大使に任命しました。

大使制度は市の産業、観光や芸術などの魅力を発信するため2006年に創設。これまでタレントの榊原郁恵さんと演出家の横内謙介さんを特別大使として任命しました。梅澤さんは観光特別大使として26年2月まで、イベントの参加や魅力発信など、市のPR活動を実施します。

「厚木のことをあまり知らない人はまだまだだ」と思う。まちや自然、食などさまざまな魅力を伝えていけるよう取り組んでいきたい」と意気込む梅澤さん。今後、市では今ある観光資源を生かしながら梅澤さんと厚木の観光を盛り上げていきます。

☎観光振興課 ☎25-2820

【プロフィール】1993年厚木市生まれ。2016年に日本テレビ放送網株式会社に入社。「ZIP!」「Going! Sports & News」に携わりながら、17年10月から「ヒルナンデス!」に3年半出演。現在は土曜の5時30分から放送の「ズームイン!! サタデー」で総司会を務める。第100回箱根駅伝では実況を担当した。

SNSでも魅力を発信中

まちの話題やイベント情報などを発信しています。



▲市公式Instagram



市HPでもイベント情報を発信中

☎広報課 ☎225-2040

Zoom Up

3月中に全戸へ配布

防災ポケットブックが新しく

防災ポケットブックは、地震や風水害、火山の噴火、火災などの災害に備えるための冊子です。市では、2020年に初めて冊子を作成し配布。避難情報の変更や南海トラフ地震への対応など最新の情報に内容を更新し、3月中に全戸へ配ります。

1月1日に起きた能登半島地震では、家屋の倒壊や火災などで多くの方が被害に遭いました。災害が大きくなるほど、道路の寸断などで公的な支援は行き届きにくくなるため、自分の身は自分で守る「自助」が大切です。市では、自宅での備えに活用できるよう防災ポケットブックを作り配布しています。今回、4年ぶりに内容を更新し、3月中に全戸へ配ります。

最新の避難情報に更新

新しい防災ポケットブックの内容は、国の法改正や、県・市の地域防災計画

の計画改定に基づいています。警戒レベルと避難のタイミングを更新。電気・ガス・水道の停止や南海トラフ地震、火山の噴火への対応を新たに加えました。多くの方に必要な情報が行き届くよう、デジタル版では9言語に対応した他、点字版も作成する計画です。市内在住の早川くるみさん(21・下荻野)は「以前から非常持ち出し袋や水、食料なども用意していたが、1月の地震でさらに意識が高まった。ポケットブックが届いたら家族で災害への備えを再確認したい」と話します。防災ポケットブックは2月中旬から配布を開始。3月中には皆さんの手元

世帯の状況に合わせた避難方法を

災害時に落ち着いて行動するには、避難場所や経路、持ち物などの事前確認が大切です。ポケットブックが届いたら全体に目を通し、世帯の状況に合わせて災害時の行動計画「マイ・タイムライン」を作成してください(左欄参照)。災害はいつ起きてもおかしくありません。いざという時に命を守るよう、みんなで備えましょう。

☎危機管理課 ☎25-2190



冊子はB6サイズで33ページ。全戸配布の他、公民館や図書館などの公共施設にも配架する。電子版も市HPに掲載。



マイ・タイムラインを作ろう

ポケットブックには、いざという時の行動計画を記載できるページがあります。自身の状況に合わせて作成し、家族で確認しましょう。

【わが家のマイ・タイムライン】

風水害時の警戒レベルごとに、準備・確認することを記載。避難場所や時間も事前に確認。

【わが家の防災メモ】

家族や親戚・知人の連絡先、災害の種類ごとの避難場所、注意点などを記入。



防災情報をLINEで



市公式LINEで簡単にハザードマップや避難所情報が確認できます。防災行政無線の内容なども配信します(受信設定が必要)。



友だち登録はこちら▶

☎広報課 ☎225-2040

マイナンバーカードで便利 コンビニ交付サービスを拡充

マイナンバーカードがあるとコンビニエンスストアで、住民票などを取得できるサービスを提供しています。今後、交付できる証明書を増やすなど、より便利にしていきます。



《取得できる証明書》

- ①住民票の写し ②印鑑登録証明書
- 3月18日から追加
- ③戸籍謄本・抄本 ④付票の写し
- 4月1日から追加
- ⑤最新年度の市・県民税(課税・非課税)証明書

※①②⑤は市内在住の方のみ取得可

《費用》300円(③は450円)

《利用場所》

マルチコピー機がある全国のコンビニエンスストア

《利用時間》

6時30分~23時(③④は平日9時~19時30分)
※12月29日~1月3日とメンテナンス日を除く

スマートフォンでもコンビニ交付が可能に

マイナンバーカードの代わりにスマートフォン(Android)でコンビニ交付サービスが利用できます。利用にはスマホ用電子証明書の利用申請が必要です。詳細は市HPに掲載。

《利用できるコンビニ》

- ・ローソン
- ・ファミリーマート

詳細はこちら。交付の手順を動画でも見られます



☎市民課 ☎225-2110 ・ 市民税課 ☎225-2012 (税の証明)



いのちのサポート相談では臨床心理士が悩みなどを聴く

Zoom Up

3月は自殺対策強化月間 独りで悩まず相談を

進学や就職などで環境が変わる3月は、不安や悩みを抱えやすくなります。心の疲れなどを感じた時は、独りで抱え込まず誰かに話すことが大切です。まずは相談窓口や身近な人などに話してみませんか。

悩みを抱え込まない

2022年、全国の自殺者数は2万1723人でした。市内では44人が自ら命を絶ち、20年から増加傾向にあります。3月は、進学や就職、引っ越しなど生活環境の変化が多く、ストレスを感じやすくなるため、必要な支援につなげるのが重要です。

変化に気付く

自殺に至る理由の多くは、健康や家庭、経済面などの問題とされています。悩みは独りで抱えず、深刻化する前の解消が大切。市では、臨床心理士による「いのちのサポート相談」や、精神保健福祉士などが話を聴くメンタルヘルス相談などの窓口を設置し、サポート環境を整えています(左欄参照)。臨床心理士の土屋明美さん(72)は「心の不安は、誰かに話すことで楽になることが多い。適切な助言をしようとせず、まずは相手に寄り添って話に耳を傾けるのが大切」と話します。

不安や悩みによる心の不調は、自分

健康相談の窓口

電話や対面で、臨床心理士や精神保健福祉士などに相談ができます。

いのちのサポート相談

《日時》3月①4日 13~16時 ②21日 9~12時

☎各前日までに健康づくり課へ。

メンタルヘルス相談

《日時》月~金曜 9~12時、13~17時

☎随時電話で受け付け。



いずれも保健福祉センター。対象は市内在住の方。無料。

相談窓口の一覧はこちら

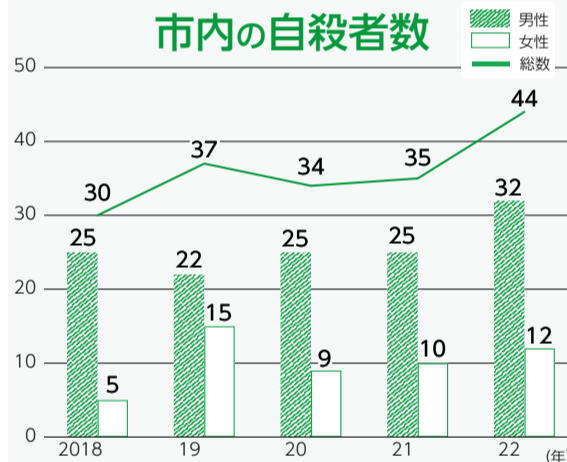


ゲートキーパー養成講座

支援の輪を広げるため、SOSサインの気付き・声掛け・話を聴く方法などが学べる市民団体向けの出前講座です。開催方法などの詳細は、健康づくり課へ問い合わせてください。

☎健康づくり課 ☎225-2201

市内の自殺者数



では分かりにくいものです。そのため、身近な人が変化に早く気付く、声を掛けることが、心のサポートにつながります。市では相談窓口に加え、声掛けや話を聴く方法などが学べるゲートキーパー養成講座を開催(左欄参照)。誰もがゲートキーパーになれるよう、市の職員が皆さんの研修会や学習の場に出向き、サポートします。

3月は自殺対策強化月間です。大切な命を守るために、一人一人ができることを考えてみませんか。

☎健康づくり課 ☎225-2201

年度末・年度初め 日曜も窓口を臨時開庁

転入・転出などの手続きが集中する時期に、通常の土曜開庁に加え臨時で窓口を開設します。

☎行政経営課 ☎225-2160

開設日時	開設窓口	取り扱い業務
3月30・31日 8時30分~12時	子育て給付課 ☎225-2230	医療証の発行/児童手当・児童扶養手当の申請など
	学務課 ☎225-2650	学区変更などによる、小・中学校の新入学手続き
3月31日 4月7日 8時30分~12時	市民課 ☎225-2110	住民異動届(転入・転出・転居など)/印鑑登録/戸籍に関する届け出/住民票の写しなどの証明書・マイナンバーカード・課税証明書の交付
	国保年金課 ☎225-2120	国民健康保険の加入・脱退などの届け出や給付申請/被保険者証・国民健康保険料納付書の発行(後期高齢者医療・国民年金を除く)

新型コロナワクチン 接種のお知らせ

※情報は2月15日時点

無料での接種は3月まで

新型コロナウイルスワクチンの無料接種は3月31日で終了します。接種を希望する方は、期間内に余裕を持って受けてください。

3月31日まで

生後6カ月以上の方を対象に、オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの令和5年秋開始接種・初回接種を個別接種で実施しています(コールセンターは3月22日に閉鎖)。

◆接種券発行(転入・再発行)、タクシー利用助成申請は3月15日までに市HPまたはコールセンターへ。

《令和5年秋開始接種》

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方を対象に接種を実施しています。

※9月20日~3月31日まで1人1回

《初回接種》

生後6カ月以上の方を対象に接種を実施しています(1回目のファイザーは3月10日まで、モデルナは3月3日までに接種)。

4月以降の予定

新型コロナウイルスの重症化予防として、季節性インフルエンザと同様に年1回、秋冬に定期接種を実施します。

※接種費用や対象は決まり次第、広報あつぎや市HPでお知らせ

☎市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666



詳細はこちら



詳細はこちら

地域防災に関わる人たち

◆防災指導員

防災訓練での指導や避難所の運営などに取り組んでいます。現在は45人が活動しています。



陣口 小夜子さん (71・まつかげ台)

指導員を22年務めています。防災イベントを企画し、万が一の時に活用する三角巾の使い方や必要性などをレクチャーすることもあります。いざという時には落ち着いて行動できるように、日頃から地域で共に防災を学んでいきたいと思ひます。

活動内容などを詳しくを知りたい方は危機管理課 ☎225-2190へ。

◆民生委員・児童委員

福祉や子育てなどに関する相談援助や地域の方の見守り活動を実施しています。災害時は避難行動要支援者の避難支援や避難情報の伝達に協力します。



藍原 万里子さん (70・小野)

民生委員になって2年目です。日頃の要支援者の見守り活動では、人間関係をつくるため一人一人に合った接し方を心掛けています。

人のつながりは、災害時に「共助」となり必ず役立ちます。住民同士のコミュニケーションの橋渡しをするのが私たちの役目だと思っています。

お住まいの区域の委員の氏名や連絡先などは福祉総務課 ☎225-2200へ。

会員・団員募集

◆自治会 (自主防災隊)

地域の連帯は、いざという時の力になります。自治会活動で地域との絆を深めませんか。

《主な活動内容》

- ・防災訓練、自主防災倉庫の維持管理
- ・夏祭り、運動会、どんど焼きなどのイベント
- ・広報紙の配布、お知らせの回覧 など

地域の自治会長へ。自治会長が分からない場合は、市民協働推進課 ☎225-2141へ。

◆消防団

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いの下、地域住民で組織しています。皆さんの力を生かしてみませんか。

《主な活動内容》

- ・一般団員：消火・救助・水防活動、放水訓練、警戒パトロールなど
- ・女性団員：火災予防などの広報活動、応急手当ての普及・啓発 など

関心のある方は消防総務課 ☎223-9366へ。

被災地を見て 地域の絆が避難所生活の支えに



能登半島地震被災地への応援職員 清水 亨 (43)

石川県志賀町役場の富来支所で支援物資の受け取りや在庫管理などの支援をしました。避難所では、地域住民同士が励まし合う姿や、自治会を中心にリーダーシップをとる人を目にし、地域での関係が築けているのだと感じました。



投光器の動作確認をする西塚さん(左)と小池さん(中央)



防災訓練では避難所で使うバーベキューを組み立てた



回覧の情報をホームページにも掲載

西塚さんは10年前から市内で暮らし始め、近所に住む地区の班長の薦めで自治会に関わるようになりまし。青森県出身で、関東では自治会活動は盛んではないと聞いていた西塚さん。初めて行った地域の祭り「さわやか親睦会」で、自治会の役員や

防災とつながり

日曜の夕方、白根公園からにぎやかな声が聞こえてきます。今日は3カ月に1回程度実施される自主防災倉庫の点検日。自治会の役員ら7人が集まり、発電機や投光器などの資機材に異常がないか、一つ一つ調べていきます。「発電機のエンジンはかかったかな」「バッテリーです。ライトもちゃんとつきました」。元気な声を出しながら作業を進めるのは西塚裕太さん(39・妻田西)。3年前から自治会の副会長を務め、広報や資料作りを担っています。

関係団体の人たちが楽しそうに言葉を交わし、動き回っている姿を目にします。「活発に活動されている姿に驚いた。団結力もあり、何かあったときにも相談しやすそうで安心感があった」と振り返ります。数日後、公園で子どもと遊んでいる時、祭りで会った体育振興会の会長から入会の誘いを受けた西塚さんは二つ返事で承諾。以来、地域との関わりを深めていきました。「自治会イベントへの積極的な参加や体育振興会での働きぶりを見て、適任だと思った」。白根自治会長の小池敏夫さんは、西塚さんを副会長に推した理由をそう話します。

市内では、214自治会ごとに自主防災隊が組織され、防災訓練や避難所の運営など、住民同士が助け合い地域を守る「共助」の役割を担っています。「共助」に欠かせないのが、普段からの住民同士のつながりです。自主防災隊の隊長も務める小池

西塚さんたちは毎年9月、白根公園で防災訓練を実施しています。子どもも一緒に楽しめる水消火器での訓練などを取り入れる一方、「忘れないうように同じ訓練を繰り返すことが大事」と真剣なまなざしで話します。今後は、自治会のホームページを災害時にも活用していく計画です。「自治会があるから住みやすい」と言われるような地域にしたいと笑う西塚さん。これから地域と関わり続けます。

さんは「いざという時にはつながりが絶対に必要。地域にどんな年代の人が何人住んでいるかなど、自治会に関わっているからこそ分かる、助け合いに必要な情報がある」と力を込めます。白根自治会では、つながりをつくるきっかけの一つとして、2年前に会のホームページを開設しました。発案したのは西塚さんです。「イベント告知や結果報告があれば、参加して自治会に入りたい人も増えるはず。見たよと言われると自分もうれし」と笑顔を見せます。

安心して住みやすい地域に

三田にある消防訓練場では、地域の消防団が火災を想定した放水訓練を実施しています。勢いよく水が放たれるホースの筒先を握るのは、消防団員の崎浜アレックス健さん(43・妻田西)。所属の団では月に2回程度、消防資器材の確認や地域の巡回を実施し、住民の安心・安全を守る活動をしています。

近所付き合いが防災の力に

消防団第3分団第3部(妻田)



放水訓練で筒先を構える崎浜さん(左)と指導する峯崎さん(右)

顔見知りの関係をつくる

崎浜さんが消防団に入団したのは、結婚を機に市内で暮らし始めた15年前。公共施設に貼ってある消防団員募集のポスターを目にし、「地域を知るのには最適な方法だと思った」と話します。幼い頃は引越越しをすることが多く、新しい地域になるか不安な思いをしてきた経験がある崎浜さん。「自分が地域になじむには、家族も住みやすくなります。消防団は、普段は別々の仕事に就きながら、災害に備え日頃から点検や訓練などを実施する、住民で構成された組織。市内では昨年4月現在で511人の団員が活動しています。活動を通じ、次第に地域にな



地域行事「どんど焼き」にも協力



年末は火の元に注意を呼びかける歳末火災特別警戒を実施

じんできていった崎浜さんはつながりが広がったことで安心感が増したといいます。「近所の人と何気ない会話ができるようになった。災害が起きた時に、一人では何もできなくても、多くの人が集まれば大きな力になる。顔見知りであれば、いざという時に助けやすくなる」と話します。崎浜さんの話に消防団第3分団長の峯崎信也さん(48・及川)もうなずきます。「能登半島地震のニュースを見て、決して他人ごとではないと感じた。災害時に消防団としてどれだけ力になれるかは分からないが、近くに住んでいるのが誰なのか、全く知らない助けられるのが難しい。日頃の付き合いが大

5年前、コロナの流行で地域行事のほとんどが中止を余儀なくされました。つながりが遠のいてしまわないか危惧していた崎浜さん。昨年多くの地域で行事が再開した時はうれしかったといひます。「みんなの笑顔が見られてよかった。これからも消防団として、地域住民が災害で不幸にならないよう、訓練など防災に力を入れて活動していきたい」と話します。地域での縁を大切にしながら、いざという時に備える崎浜さんは、今日も地域のために訓練に励みます。

地域で築く強い絆

事」と力を込めます。

特集 地域での支え合い

助け合うためにつながりを絶やさない

白根自治会(自主防災隊)

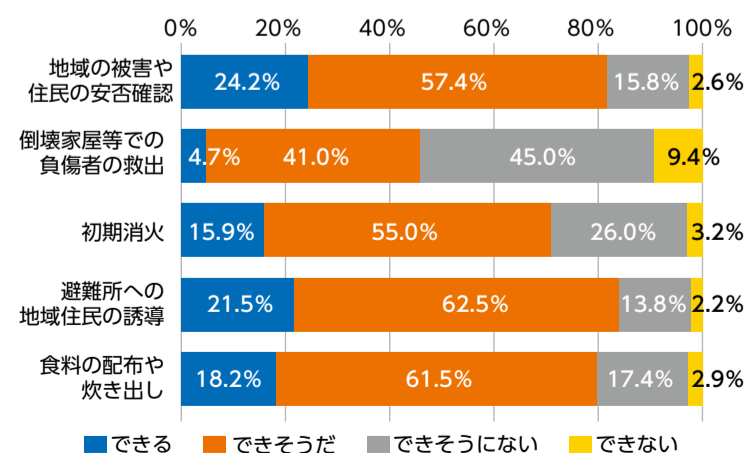
元日の夕暮れ時、石川県能登地方を大きな揺れが襲いました。家屋の倒壊、火災、津波などで避難所での生活を余儀なくされた多くの人たち。身内や近所同士で助け合う姿が連日報道されています。未曾有の被害を出した東日本大震災から13年。記憶が少しずつ薄れ、コロナ禍を経て地域住民同士の交流機会の減少が叫ばれる中、市内ではつながる大切さを働きかけている人たちがいます。特集では、睦合南地区の活動にスポットを当てました。

つながり培う防災力

要TV 3/1~

地域で防災に携わる方に聞きました

地震災害が起きた場合、自主防災隊でどんな活動ができますか？



2022年度厚木市防災意識に関する市民アンケート調査から抜粋
調査対象：自主防災隊長・民生委員・児童委員・防災指導員、防災推進員約1000人

広域課題の解決に向けて

6市町村で県央相模川サミットを開催



中日本高速道路と連携し、サービスエリアでのPR動画の放送が決定

広域での課題解決を話し合う「県央相模川サミット」が相模原市内で開催されました。相模川周辺の厚木・相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村の首長が防災対策や能登半島地震への緊急支援物資などの対応を協議しました。サミットは、環境対策など行政が抱える課題の解決を目的に2009年度から毎年開催。共通する課題の解消に向けて相互に連携・協議しています。会長の山口貴裕厚木市長は「県央地区は、圏央道・新東名など交通分野や企業誘致の面で期待されている。共通課題は協力して解決し、魅力はさらに磨き上げていきたいと思います」と連携強化に力を込めました。

歴史の聖地の拠点

あつぎ郷土博物館が開館5周年

博物館は、1998年に開館した郷土資料館の老朽化に伴い2019年に移転オープン。23年12月末までに延べ約13万人が来館しました。5周年に合わせて、子どもたちにも厚木の歴史に親しみが持てるよう、市内遺跡から出土した有孔罎付土器や力士埴輪など、全5種類のカプセルトイを販売しています。夫婦で参加した高橋実さん（74・宮の里）は「相模里神楽垣澤社中の公演を見たのは初めて。迫力があって厚木の文化に触れられて良かった」と話しました。



あつぎ郷土博物館で回せるカプセルトイ

1月に開館5周年を迎えたあつぎ郷土博物館の記念セレモニーを開催しました。市指定無形民俗文化財の相模里神楽垣澤社中が節目を祝う演目を披露し、来館した約130人を楽しませました。



都内で厚木の温泉をPR

下北沢駅前で「あつぎ温泉郷」足湯体験イベントを開催

「あつぎ温泉郷」の魅力を知ってもらおうと2月、下北沢駅前で足湯体験イベントを実施しました。親子連れや外国人など約2000人が訪れました。イベントは市と観光協会が主体となり初めて開催しました。小田急線沿線で利用者が多い下北沢駅の近くに、6人用と4人用の足湯を設置。「美肌の湯」として知られる市内の温泉を浴槽に入れました。親子で足湯を体験した都内在住の小林輝紀さん（35）は「近くを通ったので参加した。会場に足湯があり驚いたが、温かくて気持ちよかったです。厚木市に温泉があることを知ったので、家族で行ってみたいと思う」と話しました。



来場者はアユの塩焼きなどの厚木のグルメも味わった

新春の「厚木路」で健脚を競う

あつぎ駅伝競走大会に47チームが参加

約22キロのコースをたすきでつなぐ「あつぎ駅伝競走大会」を1月、荻野運動公園を発着点に開催しました。47チーム、約380人が参加し、沿道の声援を受けながら新春の厚木路を駆け抜けました。開始を告げる号砲の合図とともに、第一走者がスタート。ぼうさいの丘公園や、林中学校前などの中継所を経て、ゴールの荻野運動公園まで、懸命にたすきをつなぎました。地区対抗の部で優勝した南毛利Aチームの前田智司監督（58・温水西）は「選手とスタッフが一丸となり、最後までたすきをつなぐと話していた。持っている力を一杯発揮し、優勝できて素直にうれしい」と笑顔で話しました。



一着でゴールした南毛利Aチーム

第12回 みんなで目指そう カarbonニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 エネファームを知ろう



停電時にも電気やお湯が使える

エネファームは、発電しながらお湯を沸かせる給湯器です。家に供給されるガスから水素を取り出し、空気中の酸素との化学反応で電気を作り、その熱でお湯を沸かします。

エネファームの設置には、国と市の補助金も活用できます。エネルギーを無駄なく使い、エコな暮らしを送りませんか。

CNプラットフォームでは、エネファームをより詳しく知れるページを公開しています。



環境政策課 ☎225-2749

元日に発生した能登半島地震から約2カ月、被災地では、今も多くの人が厳しい環境で避難生活を余儀なくされています。発生から時間が経つにつれ、被害の全容が明らかになり、改めて自然災害の恐ろしさを感じています。

市では、被災地の一日でも早い復興を祈り、募金活動や被災地の避難所運営支援・被災者の健康サポートなどのため、職員を派遣しています。消防隊員も交代で現地に入ります。消火活動も交代で現地に入ります。



2月6日の支援物資搬送出発式

東日本大震災の時、市内でも帰宅困難者や街路灯の倒壊、計画停電などの被害がありました。災害はいつ起こるか分かりません。過去の体験や派遣職員の経験を生かし、「市民の命と暮らしを守り抜く」強い思いで厚木の防災力を高めていきます。しかし、災害を乗り越えるには、自助、共助の力も必要です。地域との絆を大切に、災害に強いまちを目指してまいります。

タウンガイド

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV 3/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「雪化粧の大山」

#2月7日撮影
 #青空
 #雪化粧
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



参加者募集

年齢を問わず楽しめる スポーツなじみDAY

気軽にできるニュースポーツで汗を流しませんか。パラスポーツ体験会も同時開催します。

《日時》3月16日 10時~15時30分

《場所》荻野運動公園

《費用》無料

《種目》
 屋内=セストシューター、バウンスボール、ドッジビー、カーレット、体力チェックコーナーなど
 屋外=ターゲット・バードゴルフ、ティーボールなど

※雨天時は屋内種目のみ。室内履きをお持ちください。

☑不要。



詳細はこちら

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

あかちゃんハイハイレース

3月9日、10時~14時30分。アミューあつぎ。専用コースをハイハイし、ゴールを目指す。定員120人。無料。
 ☑不要。☎商業にぎわい課 ☎225-2840。詳細はアミューあつぎHPに掲載。

あつぎ郷土博物館協議会委員を募集

あつぎ郷土博物館の運営状況などを審議する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年2回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方2人《任期》6月~(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。
 ☑あつぎ郷土博物館や市HPにある申込書と小論文(400字程度)を、郵送、ファクス、Eメールで3月31日(必着)までに〒243-0206下川入1366-4あつぎ郷土博物館 ☎225-

2515・㊚246-3005・8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ。面接あり。



総合計画審議会委員を募集

市総合計画の進捗状況などを審議する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年4回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人《任期》6月~(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。
 ☑企画政策課や市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで4月1日(必着)までに〒243-8511企画政策課 ☎225-2455・

㊚225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考・面接あり。

原動機付自転車などの廃車・変更届け出はお早めに

軽自動車税(種別割)は、4月1日に原動機付自転車、軽自動車などを所有または使用する方に課税されます。盗難や譲渡などで所有していない場合は、3月中に手続きをしてください。

《手続き場所》原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車=市民税課 ☎225-2012、軽二輪車(125cc超~250cc以下)・二輪の小型自動車(250cc超)=相模自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2037、三輪・四輪以上の軽自動車(660cc以下)=軽自動車検査協会神奈川事務所相模支所 ☎050-3816-3120。☎市民税課 ☎225-2012。

市有地の売却

《物件》長谷字曾野1574番3、1574番4(764.39平方メートル)。
 ☑3月11日ま

で。詳しくは市HPに掲載。☎財産管理課 ☎225-2089。

古民家岸邸の臨時休館

3月13・14日は展示準備のため休館します。☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515。

農地利用などの地域計画策定に伴う協議の場

農業の健全な発展のため、未来の農地利用を示す目標地区やプランなどの地域計画策定に向けた話し合いの場を設けます。

《対象》各地区に農地所有・耕作・在住の方《開催日程》小鮎=3月11日、荻野=3月13日、依知=3月14日、玉川=3月15日、睦合=3月18日、相川=3月19日、南毛利=3月26日。☑ファクス、Eメールに参加地区名を書き、開催日の5日前までに農業政策課 ☎225-2800・㊚223-0174・✉3600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。開催時間などの詳細は市HPに掲載。

厚木の魅力が満載

観光写真サイト

あつぎのしゃしん。

市内の自然やイベントなどの観光写真を紹介しています。気に入った写真は自由にダウンロードできます。

☎広報課 ☎225-2040

《サイト公開日》3月4日~

ダウンロード方法

- ①サイトにアクセスし、ダウンロードしたい写真をカートに入れる(一度に最大10枚まで)
- ②カートからダウンロード(利用者情報登録)に進む
- ③種別や使用目的などを選択し、ダウンロード



サイトはこちら

無料 あつぎeスポーツ交流会

多世代で楽しみ、交流が生まれるイベントです。eスポーツの体験やプロ選手による講演・実技指導を実施します。

☎企画政策課 ☎225-2450

日時 3月23日 10~17時

場所 厚木シティプラザ

内容 体験ブース(ぶよぶよ、太鼓の達人) SDGsブース(高齢者や障がいがある方も楽しめる機器を設置) ☑不要。

eスポーツプロ選手による講演・実技指導

《時間》①10時~②13時~③15時30分~(各回60分)

《対象》①②小学生③中学生以上。各回20人。

☑3月13日までに市HPから申し込み。抽選。



詳細はこちら

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

2月1日号「広報あつぎ」を読んで

- ◆厚木のイチゴが一番おいしくて好き/40代男性
- ◆申請書を書く手間が省けて効率的だと思う/40代女性
- ◆市公式LINEでさまざまなジャンルの情報が見られるので、楽しみが増えた/70代以上男性
- ◆皆さんがどんな本を読んでいるのか興味深かった/50代男性
- ◆アウトドアが好きなのでイベントが楽しみ/40代女性
- ◆アカゲラは知っていたがアオゲラもいることに驚いた/70代以上女性

編集後記

私は地元で消防団員として活動しています。入団する前までは地域と関わる機会はほとんどありませんでしたが、活動の中で自治会や子ども会の人たちなどと話すことが増え、つながりが広がっていくのを肌で感じられました。いざという時に助け合えるよう、日頃から地域のつながりや、近所同士の顔が見える関係性をつくるのが大事だと改めて思ったので、今後も活動を大切にしていきたいです/永井

あつぎ飯山桜まつり

満開の桜の下、見て食べて楽しめるイベントです。厚木の春を感じてみませんか。
☎観光振興課 ☎225-2820

場所 飯山白山森林公園 桜の広場
内容

3月30日

- 10時～ 小鮎中吹奏楽部演奏
- 10時30分～ 開会式・植樹式
- 11時45分～ 飯山白龍太鼓
- 13時～ ダンスショーケース
- 15時～ 紙芝居
- 16時30分～ 飯山白龍太鼓・白龍の舞
- 17時30分～ 点灯式

31日

- 11時～ ダンスショーケース
- 13時～ パレード (さくら輿・白龍の舞・花音頭)
- 14時～ 餅撒き
- 16時～ 飯山白龍太鼓

車両通行止めや駐車場などの情報は市HPに掲載
詳細はこちら



飯山白山森林公園 桜の広場

かながわ花の名所100選にも選ばれている桜の名所です。ソメイヨシノやシダレザクラなどの桜が楽しめます。園内には、ベンチやテーブルを設置しています。



さくら輿

女性だけで担ぐ華やかなみこしです。



飯山白龍太鼓 白龍の舞

雨乞いをする村人と天を駆け巡る白龍をイメージし、激しく太鼓を打ち鳴らし白龍が舞います。



桜のライトアップ

祭り期間中、会場に咲く桜をライトで照らします。昼間とは違った幻想的な雰囲気を楽しめます。

《点灯期間》3月30日～4月7日 18～20時(30日は21時まで)



ダンスショーケース

ヒップホップやチアダンスなどのダンスを披露します。



花音頭

あつぎ飯山桜まつりに欠かせない花音頭、会場の雰囲気を盛り上げます。

30周年 自然歳時記

●トラツグミ●
ヒタキ科

全身が黄褐色、胸や腹は黒褐色のトラまだら模様が名の由来。全長30センチほどの大型のツグミ類。丘陵地から低山地で見られるが、準絶滅危惧種で数は少ない／中荻野の雑木林で見つけた。 写真・文／吉田文雄



「シー」と鋭い鳴き声を残し、やや大きめの鳥が飛んでいった。姿を追いかけると太いサクラの枝に止まった。双眼鏡で見ると、あまり見かけないトラツグミだった。

枝先には早咲きの花があり、肌色の足と上品な色合いをした、貴重で美しい姿を垣間見た気がした。

トラツグミが夜間に鳴く「キーン、ヒョー」というバイブレーションのかかった声が、「鶴」の声として気味悪がられている。いつの時代も人間にとって澄んだ夜の声は、少し怖いが興味ある世界である。

最近、鳥たちの姿が減っている。生息環境の保全が必要だ。

厚木市の人口 (2月1日現在) 世帯数 10万5133世帯 (前月比2世帯減) 人口 22万3930人 (前月比130人減) 男11万5325人・女10万8605人